

## 環境保護

IBMには、環境リーダーシップの長い歴史があります。当社は1971年、環境保護についてのコーポレート・ポリシーを定めました。この世界共通の環境ポリシーは、全世界にわたるIBMの事業活動を律する総合的でグローバルな環境マネジメント・システムによって支えられています。

環境保護の重要性をIBMが早くから認識していた理由は、その事業が持つ2つの重要な側面にあります。その第1は、当社の事業活動と製品が持つ環境との接点であり、第2は、当社のイノベーションとテクノロジーそして専門知識の持つ実現化側面です。

IBMの事業活動には、環境に影響を及ぼす可能性が数多くあります。例えば、研究、開発、製造に必要な化学物質は、選択、調達から貯蔵、利用を経て処分に至るまで、正しく管理しなければなりません。データセンターの運営にはエネルギーを大量に消費します。また、いくつかの製造プロセスではエネルギーや水を大量に消費するので、IBMはこれらの資源消費を削減する方法を常に探し求めています。

当社の製品設計は、エネルギーの効率的利用、環境に配慮した素材の利用、耐用期限後のリユース、再資源化、安全な処分の可能性を考えたものとなっています。また、IBMが製造の多くを外部委託するようになり、そのサプライチェーンは変化しています。サプライヤーの全般的な環境責任と、サプライヤーが納入する部品や製品の環境特性の評価は、ますます重要となっています。

IBMは、そのイノベーションとテクノロジーの持つ実現化側面のゆえに、効率向上と環境保護に貢献するソリューションを開発して、自身とお客様の両方に役立つという重要な役割を担う立場にあります。さらに、科学や環境について世界が抱えている非常に困難な問題の中には、IBMのテクノロジーが提供する巨大な計算能力、ソフトウェアの進歩、視覚化機能によって、理解を深め迅速に解決できるものがあります。この報告書は、これら両分野でのIBMのプログラムと実績を紹介いたします。